

ブラジル日本商工会議所 業種別フォーラム 「自動車部会」レポート

2021年8月27日

< 2021年上期振り返りと今後の展望 >

➤ 四輪業界動向

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 2021年 | 上期振り返り・通年予測 |
| 2. 長期展望 | 重要テーマ・日系ブランドの対応 |
| 3. 総括 | |

➤ 二輪業界動向

四輪業界動向

1. 2021年 上期振り返り・通年予測
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. 総括

四輪業界動向

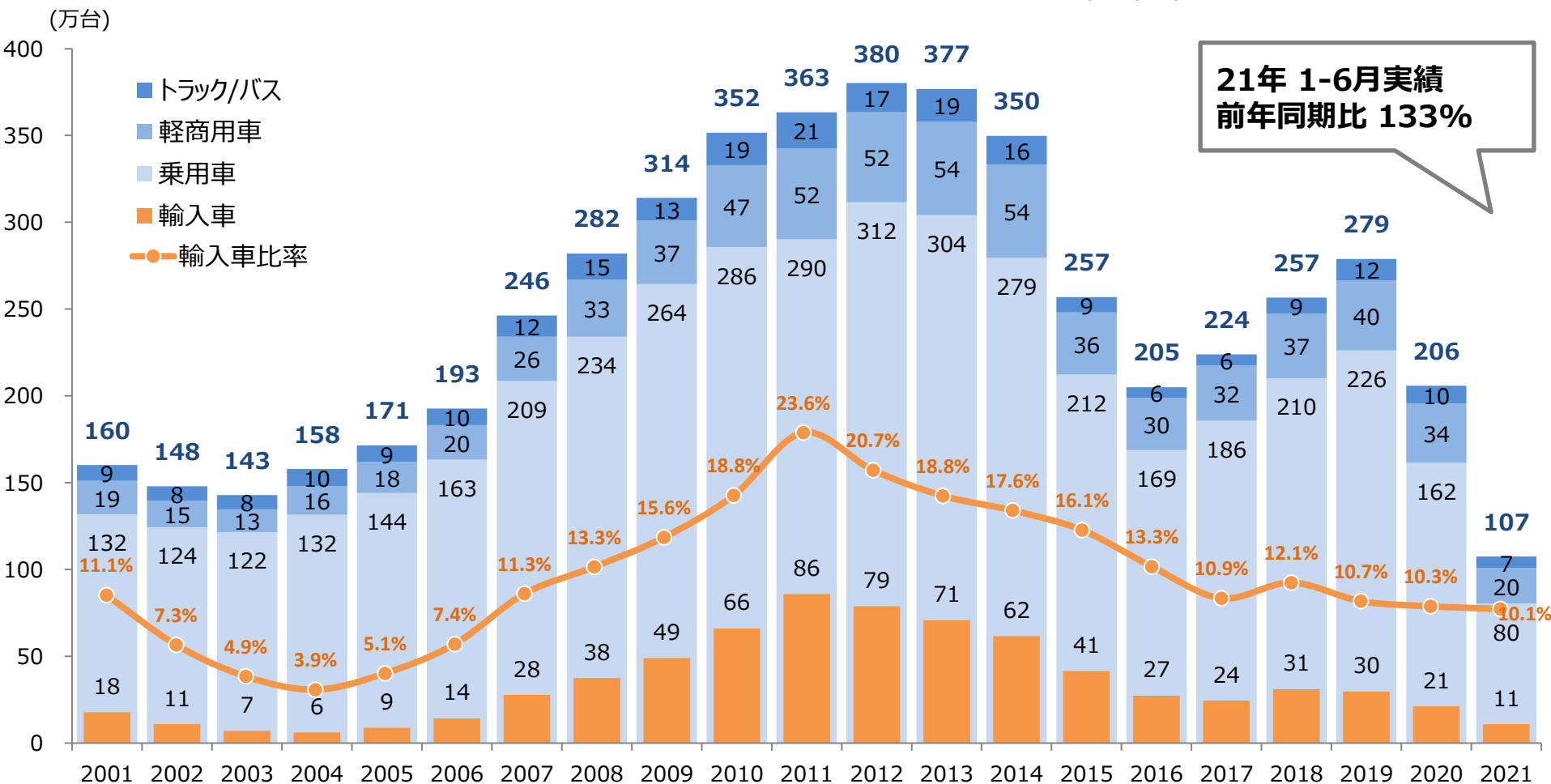
1. 2021年 上期振り返り・通年予測

2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応

3. 総括

1. 2021年 上半期 振り返り – 販売台数 推移

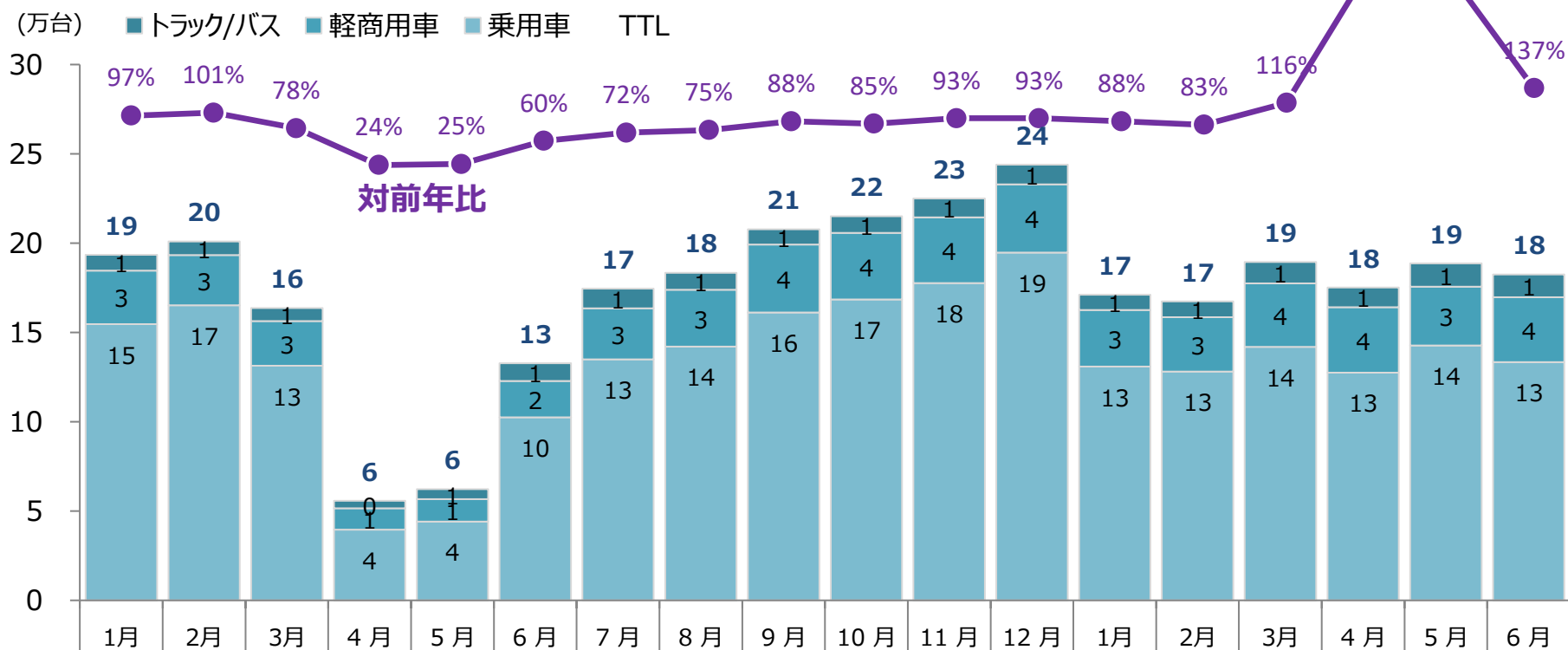
出所：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計



- 21年上半期の総市場は107万台（前年同期比133%）と、市場はCovid-19から徐々に回復
- 輸入車比率は10%と、前年同程度水準

1. 2021年 上半期 振り返り – 月別販売台数 推移

出典：ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



206万台
前年比74%
ダイレクトセールス比率 **44%**

2020年

107万台
前年同期比133% *1-6月
ダイレクトセールス比率 **43%**

2021年

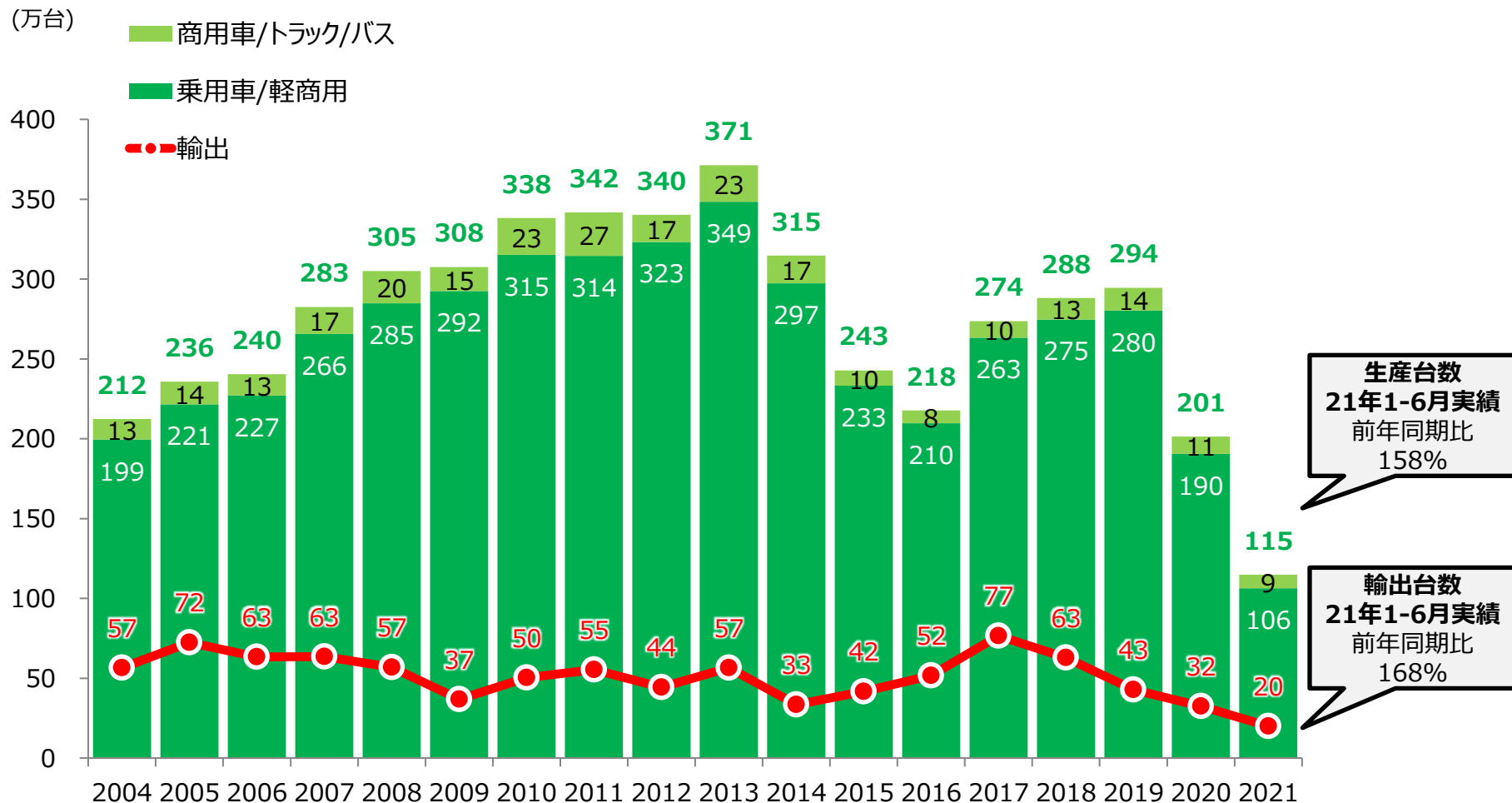
➤ 21年3月以降は対前年を上回る実績

➤ ダイレクトセールス比率は、前年同レベルの43%

* 法人・個人事業主・ハンディキャップお客様向け販売

1. 2021年 上半期 振り返り – 生産・輸出台数 推移

出所：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず



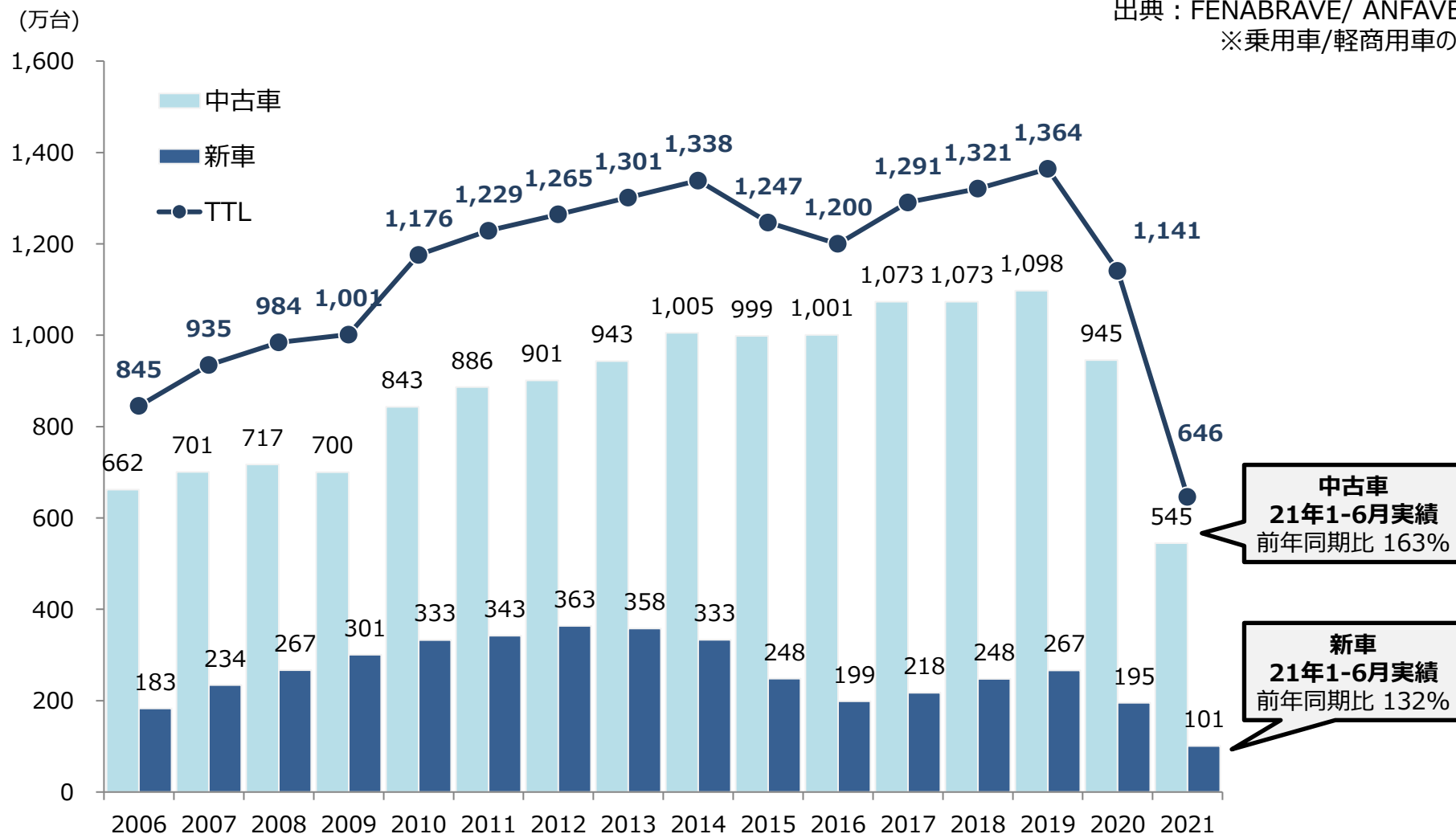
➤ 21年1-6月の総生産台数は 前年比158%の115万台

Covid-19感染拡大、半導体供給不足などによる断続的な生産休止はあったものの回復

➤ 輸出は前年比168%の20万台、南米諸国の経済・市場正常化により回復

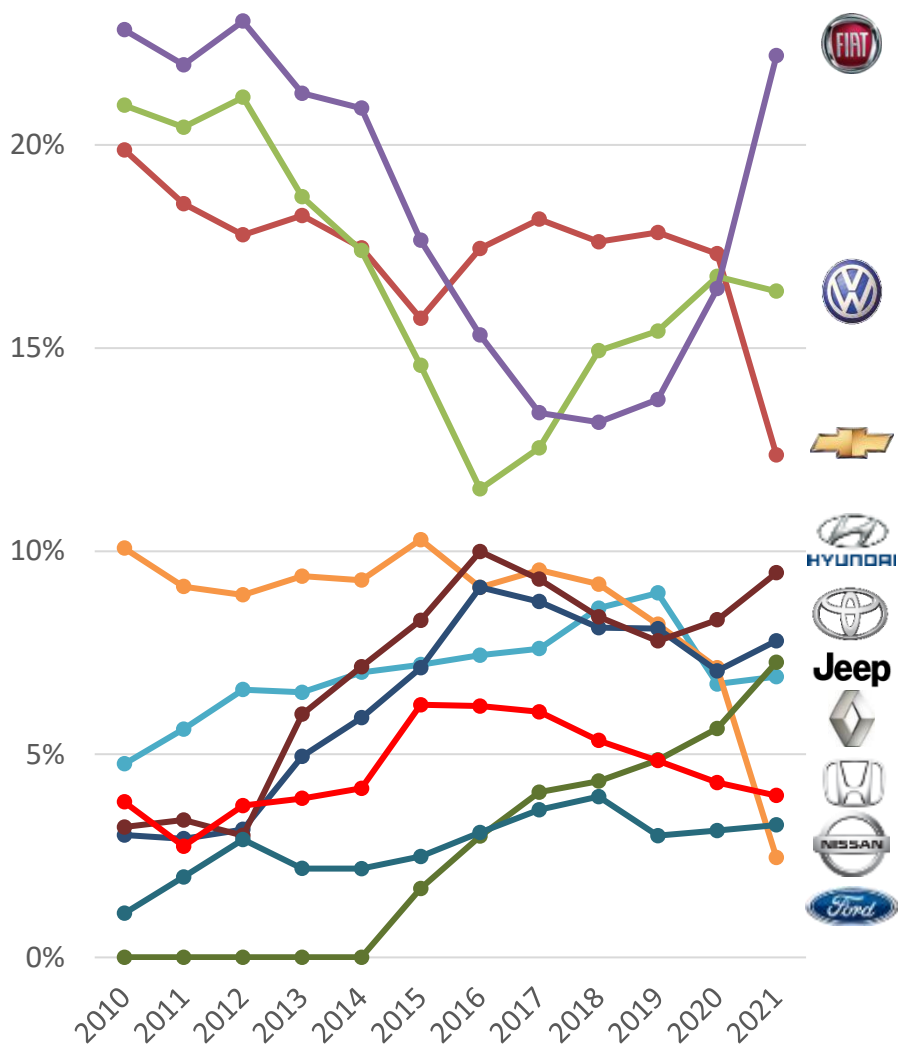
1. 2021年 上半期 振り返り－自動車業界(中古・新車)

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA
※乗用車/軽商用車のみ



- 中古車が大きく伸び対前年比163%。新車は132%。
- 新車以上に中古車市場が全体を牽引し、計646万台。

1. 2021年 上半期 振り返り – ブランド別シェア



単位：万台、トラック・バス除

21年1月~6月

	'20	台数	シェア		'21	台数	シェア
1		33.8	17.3%		1		22.4 22.2%
2		32.7	16.8%		2		16.5 16.4%
3		32.2	16.5%		3		12.5 12.4%
4		16.2	8.3%		4		9.5 9.5%
5		13.9	7.1%		5		7.9 7.8%
6		13.8	7.1%		6	Jeep	7.3 7.3%
7		13.2	6.7%		7		7.0 6.9%
8	Jeep	11.0	5.6%		8		4.0 4.0%
9		8.4	4.3%		9		3.3 3.3%
10		6.1	3.1%		10		2.5 2.5%

- 業界全体が在庫不足の中、影響が軽微だったFiatがトップへ。Jeepも6位へランクアップ。
- 在庫不足のGMは3位へ。Fordはブラジルでの生産撤退により、シェア急落し10位へ。

1. 2021年通年予測 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

◆ ブラジル市場・輸出・生産の2021年通年予測

単位：万台

	2020年 最終結果	2021年 予測	
		ANFAVEA (7月発表)	自動車部会
国内市場	トラック・バス 含む総合計 206 前年比：▲26%	232 前年比：+13%	232±α
	トラック・バス 除く合計 195 前年比：▲27%	218 前年比：+12%	218±α
輸出台数	32 前年比：▲24%	39 前年比：+20%	39±α
生産台数	201 前年比：▲32%	246 前年比：+22%	246±α

- 2021年通年市場予測は232万台（対前年+13%）レベルを予測。ANFAVEA同等レベル。
- ANFAVEAによると 部品供給不足の影響 は 2022/2Qぐらいいまでは続く見通し。
- ➔ 確かな市場の回復を見込むも、半導体など部品供給の遅れは変動要因に。今後も注視。

1. 2021年 – 足元の事業運営上の懸念と期待

出典：自動車部会でのヒアリング
21年8月24日

<懸念>

- ・COVID-19対応 ～感染回避と安定稼働
- ・サプライチェーン ～船手配、輸送費高騰、半導体不足
- ・為替レアル安継続 ～海外部品購入価格高騰、現調化の必要性
- ・材料費高騰 ～ブラジル鉄鋼価格
- ・インフレ進行、労務費アップ、商品価格への転嫁
- ・電動化動向 ～電動車・バイオ・コンベエンジンなど将来予測
- ・政治動向 ～2022年大統領選

<期待>

- ・市場回復 ～新車・中古車、低価格タイヤなど

➤ COVID-19影響からは回復途上にあり、足元の懸念事項に注視しながら事業運営

四輪業界動向

1. 2021年 上期振り返り・通年予測

2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応

3. 総括

2. 長期テーマ・日系企業としての対応

下線部は前回フォーラムからの
アップデート

◆ 自動車政策 Rota 2030

- ・税恩典を最大限活用し競争力維持へつなげる

◆ Proconve 排ガス規制

- ・L7(22年～) 自工会と政府当局の延長交渉するも、開始予定。
- ・L8(25年～) 欧米に比べても非常に厳しい規制レベルとの認識。
厳しいビジネス環境下で過大投資につながる内容
一部細目未定。正しい方向へのロビー必要。

◆ モビリティサービス CASE

- ・将来拡大が見込まれるコネクティッド、シェアリング、電動化等への対応

◆ カーボンニュートラル・電動化

- ・長期視点で予見性のある政策・ロードマップの提示とスムーズな移行を期待
- ・環境対応車 (HEV/P-HEV/BEV)への輸入関税優遇策の動向を注視

◆ 税体系簡素化

- ・政権が掲げる税制の簡素化を後押し

◆ 日-メルコスールEPA

- ・ブラジルにおける日系メークの競争力強化のため政府に働きかけを継続

四輪業界動向

1. 2021年 上期振り返り・通年予測

2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応

3. 総括

3. 総括 – 本日のまとめ

2021年実績・予測

- **2021年1-6月新車市場は107万台と前年比133%。Covid-19影響から確かな回復基調へ。**
新車通年市場予測は232万台レベル。前年比113%。Covid-19前の前々比では83%。
業界全体での半導体等 部品供給不足は、今後も変動要因。
- **生産は115万台と前年比158%。輸出は対前年比168%。**
COVID-19や半導体供給不足の影響で稼働休止が断続的に発生も、大幅減となった前年より回復。
- **足元の事業運営課題は、コロナ禍での安定稼働、サプライチェーン、レアル安、材料・労務費高騰など。**

長期視点での対応 = ブラジル市場のポテンシャルを踏まえ **基本的な方針に変化なし**

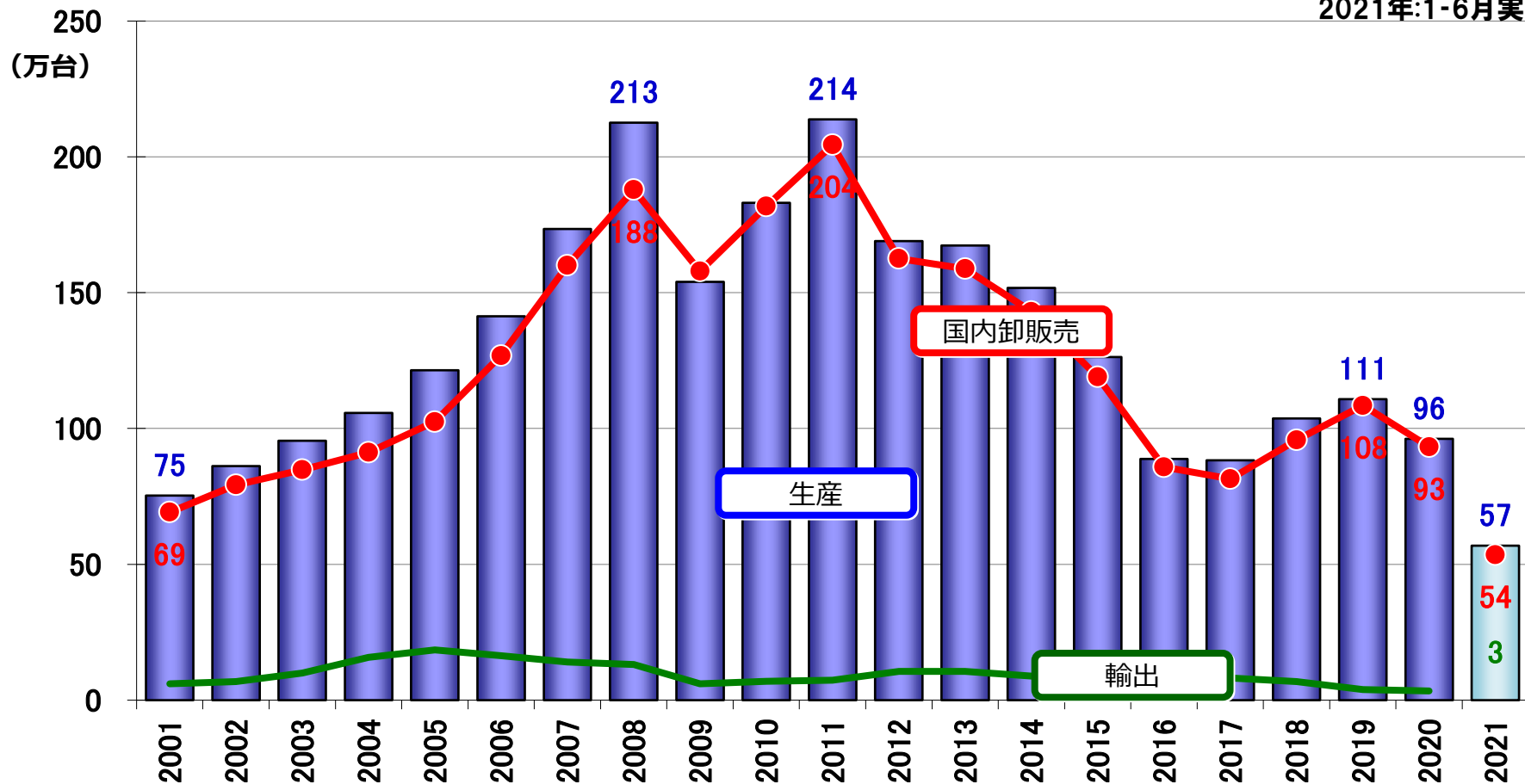
- 長期的視点に立ち、**為替変化に強い事業体質づくりを継続**
→部品現調化、生産性向上などでコスト低減、輸出促進など
- **排ガス規制Proconveは現実に即したものにすべく、当局への理解活動を継続**
- **新自動車政策ROTA2030への対応** →投資・燃費向上・安全装備適用等
- 将来拡大が見込まれる**CASE(コネクティッド、シェアリング、電動化等)への対応**
- **カーボンニュートラルを見据えた予見性のある政策への期待・備え、環境車輸入関税優遇策の動向注視**
- **税体系簡素化、日メルコスールEPA締結への政府後押し**

二輪業界動向

二輪車 生産・販売 推移

出典:Abraciclo

2021年:1-6月実績

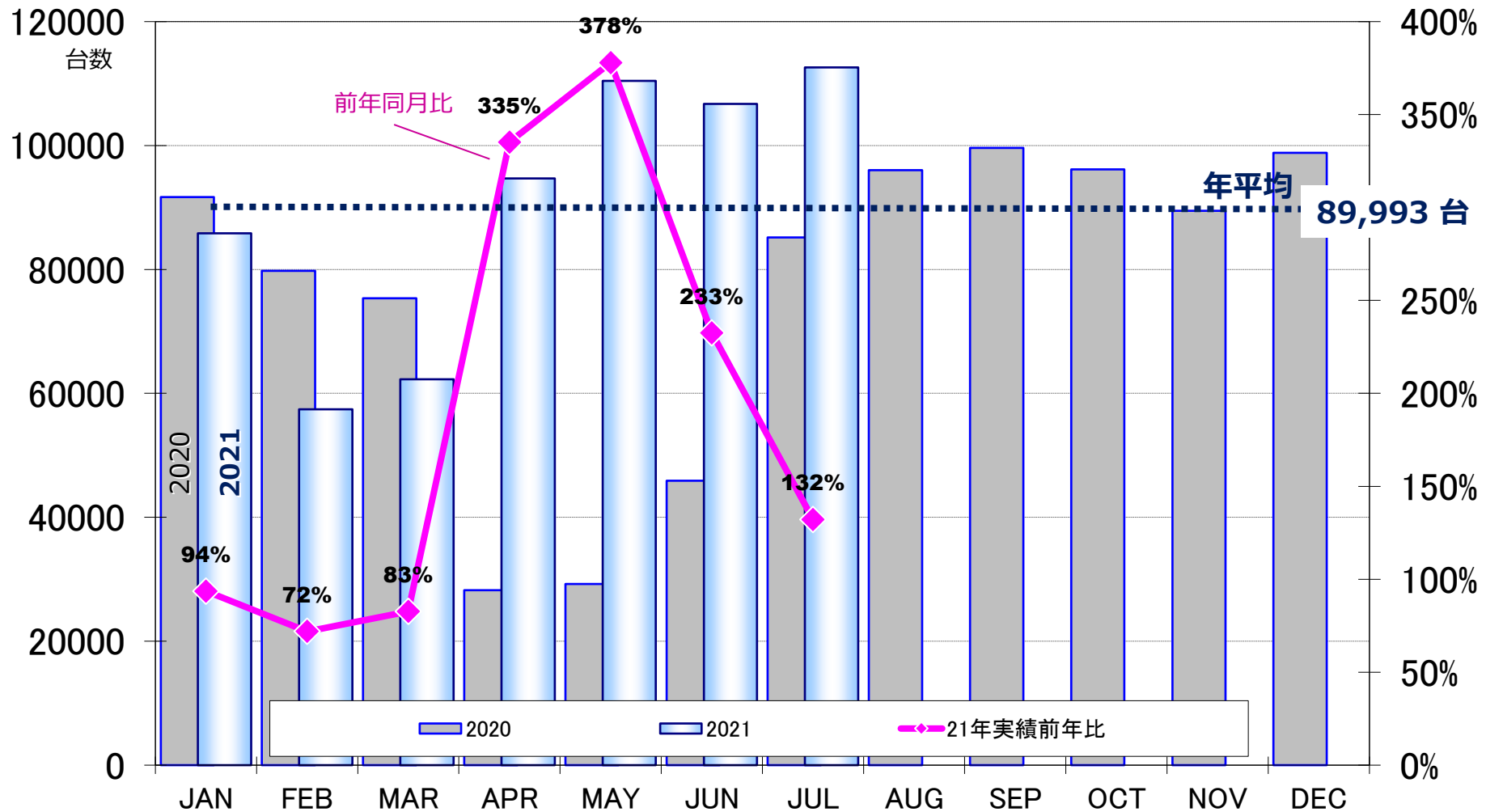


2021年(1-6月)実績

卸: 54万台 (前年比 142%)
生産: 57万台 (同 145%)
輸出: 3万台 (同 249%)

二輪車 月別登録推移 (2020年vs2021年)

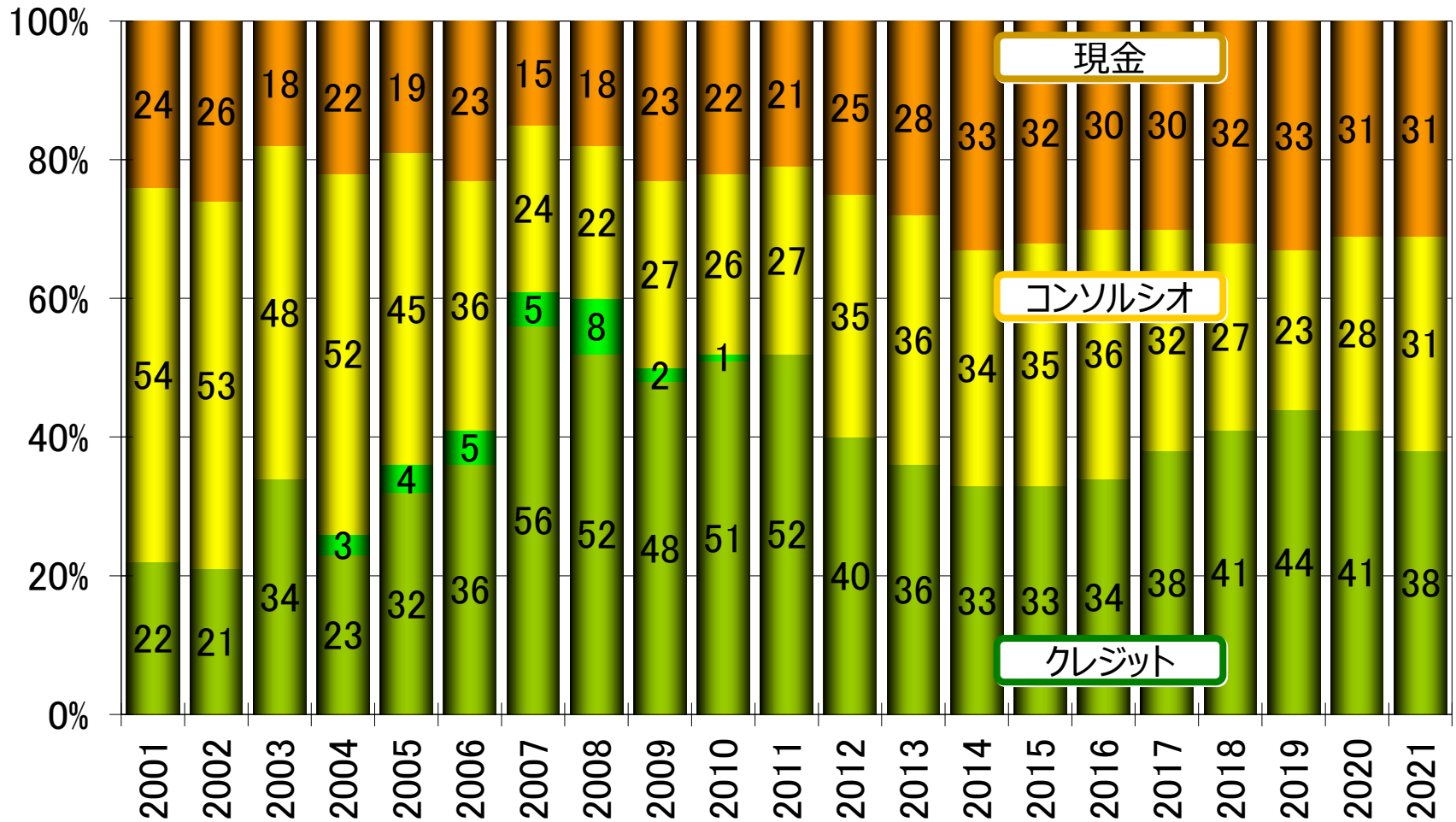
登録データ(DETRAN)



3月まではCOVID-19感染拡大により前年を下回ったが、
堅調な需要から4月以降は前年比プラスが継続

二輪車 支払形態別 販売比率

※出典: ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)



割賦販売が堅調でコンソルシオ比率増加

ご清聴ありがとうございました